

## 広島国際大学看護学部 研究業績 (2010.1~2010.12)

### 基礎看護学領域

#### I. 論文

##### 1. 学術論文

- 1) 小笠原知枝, 吉岡さおり, 山本洋美, 秋山智, 江口瞳, 片山はるみ, 長谷川智子 (2010). 看護学性の臨床実習環境とストレス・コーピングに関する実態調査研究. 広島国際大学看護学ジャーナル, 7(1), 3-13.
- 2) 久米絢弓, 西川まり子, 大久保一郎 (2010). 在日中国人留学生の保健行動に関する実態調査, *Journal of International Health*, 25(3), 171-179.
- 3) 芥川清香 (2010). オストメイトの患者教育に対するプログラム開発研究, 平成19年度~21年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B))研究成果報告書.
- 4) 芥川清香, 西川まり子 (2010). 看護学教科書からみた患者教育論の変遷, 日本看護歴史学会誌, 23(1), 14-22.

##### 2. 研究報告

- 1) 木村誠子 (2010). わが国の看護基礎教育におけるProblem-Based Learning(PBL)導入と取り組みの実例, 広島国際大学看護学ジャーナル, 7(1), 57-65.

#### II. 著書

##### 1. 図書・教科書

- 1) 小笠原知枝 (2010). 看護倫理と看護研究, 松木光子(編), 看護倫理学, 145-167, ヌーベルヒロカワ, 東京.
- 2) 中津川順子, 芥川清香 (2010). 学習の特徴と看護, 安酸史子(編), ナーシンググラフィカ22成人看護学概論, 106-126, メディカ出版, 東京.

- 3) 中津川順子, 芥川清香 (2010). 成人教育学, 安酸史子(編), ナーシンググラフィカ25成人看護学概論, 28-32, メディカ出版, 東京.

#### III. 学会

##### 1. 国際学会

- 1) Ogasawara, C., Yoshioka, S., & Kashihara, R. (2010). Nursing Diagnoses Identified by Expert Nurses in Hospices and Palliative Care Units in Japan, NANDA International 2010 conference, Madrid, Spain.
- 2) Nishikawa, M., Ikeuchi, C., Kimura, M. & Akutagawa, K. (2010). Health Behavior of Japanese Nursing Students during the H1N1 Epidemic, International Union for Health Promotion and Education 2010, Geneva, Switzerland.
- 3) Akutagawa, K. & Nishikawa, M. (2010). Future Health Education Supports for OSTOMY Patients after Discharge from Hospital in Japan, International Union for Health Promotion and Education 2010, Geneva, Switzerland.
- 4) Yoshida K, Hasegawa T, Sasaki M, Uehara Y, Ueno E, Tonami R, & Kashihara, R. (2010). Nurses' Emotional Labour to Patients with end-stage and non-end-stage Cancer, International Networking for Education in Health, Cambridge, the UK.

##### 2. 国内学会

- 1) 寺師榮, 新井祐恵, 石井香余里, 對中百合, 小笠原知枝 (2010). 救急医療施設で死を迎えた終末期高齢患者の家族の意思決定に影響する諸因子, 第6回日本クリティカルケア看護学会学術集会, 札幌市.

- 2) 對中百合, 新井祐恵, 石井香余里, 寺師榮, 小笠原知枝 (2010). 中堅看護師による他者評価から分析した新卒看護師の看護実践能力, 第20回日本看護学教育学会学術集会, 大阪市.
- 3) 西川まり子 (2010). テキスト・マイニングと看護領域での利用, 第30回日本看護科学学会, 札幌市.
- 4) 西川まり子 (2010). 位置情報のシステムを活用しよう!ーデータに位置をつけると新たなアセスメントができる, 新たな看護がうまれる, 第30回日本看護科学学会, 札幌市.
- 5) 芥川清香 (2010). 戦後の患者教育の歴史の変遷, 第24回日本看護歴史学会, 神奈川.
- 6) 津田知恵美, 加藤亜希, 中島治代, 上杉美智子, 榎原理恵, 木村成里 (2010). 介護・高齢者・障害者施設職員に対する感染教育への取り組み, 第25回日本環境感染学会, 東京.
- 7) 加藤亜希, 津田知恵美, 中島治代, 上杉美智子, 榎原理恵, 木村成里 (2010). 擦式アルコールゲル状手指消毒剤使用量による院内手指衛生向上の向けてー臨床検査技師との比較から, 第25回日本環境感染学会, 東京.
- 8) 中島治代, 加藤亜希, 津田知恵美, 上杉美智子, 榎原理恵, 木村成里 (2010). 他部署へのラウンド実施によるリンクナースの行動変容, 第25回日本環境感染学会, 東京.
- 9) 加藤亜希, 津田知恵美, 中島治代, 上杉美智子, 榎原理恵, 木村成里 (2010). ニトリル手袋導入による手袋使用量の変化, 第25回日本環境感染学会, 東京.

#### IV. 助成金

- 1) 西川まり子, 芥川清香, 木村誠子, 山中昭仁 (2010-2012年度). 外国人旅行者の日本

滞在中の受診行動に関する心配要因分析と情報提供アニメDVD開発, 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究).

- 2) 吉岡さおり (2010-2012年度). 一般病棟の看護チームにアプローチする看取りケア実践教育プログラムの構築と教育評価, 科学研究費補助金 (若手研究 (B)).
- 3) 榎原理恵 (2010). 離職行動に影響する組織文化の捉え方ー管理者とスタッフナースの比較, 2010年度広島国際大学特別研究助成.

#### VI. 受賞

- 1) 吉岡さおり, 小笠原知枝, 中橋苗代, 伊藤朗子, 池内香織, 河内文 (2010). 日本看護科学学会学術論文奨励賞, 論文名: 終末期がん患者の家族支援に焦点を当てた看取りケア尺度の開発, 日本看護科学学会.
- 2) 金城夏樹, 西川まり子 (2010). VMStudio & TMStudio学生研究奨励賞, 論文名: 看護学生の禁煙を阻害する要因ーText Mining Studio を用いた分析, 数理研究所.

#### 成人看護学領域

##### I. 論文

##### 1. 学術論文

- 1) 秋山智, 岡本裕子 (2010). 若年性パーキンソン病患者のQOL に関する研究ーSEIQoL-DW による評価, 日本難病看護学会誌, 14(3), 169-177.
- 2) 秋山智, 岡本裕子 (2010). 若年性パーキンソン病患者のQOL 評価ーSEIQoL-DWによる経時的な変化の分析を通して, 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班平成21年度総括・分担研究報告書, 15-19.

- 3) 秋山智 (2010). 若年性神経難病患者の“社会との接点”と“SEIQoL-DW”との関連に関する研究, 平成19~22年度科学研究補助金(基盤研究(C))研究成果報告書.
- 4) 牛小保美津子, 川村佐和子, 小倉朗子, 秋山智, 本田彰子, 牛込三和子 他 (2010). 神経難病の長期療養生活を支える施設滞在型サービス事例, 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班平成21年度総括・分担研究報告書, 33-35.
- 5) 松下祥子, 小倉朗子, 牛込三和子, 川村佐和子, 牛久保美津子, 秋山智 他 (2010). 訪問看護ステーションの神経難病療養者の受け入れと提供体制に関する研究, 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班平成21年度総括・分担研究報告書, 132-138.
- 6) 藤田美江, 川村佐和子, 小倉朗子, 秋山智, 小森哲夫 他 (2010). 神経難病看護師(仮称)育成のためのプログラムに関する検討, 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班平成21年度総括・分担研究報告書, 156-158.
- 7) 小笠原知枝, 吉岡さおり, 山本洋美, 秋山智, 江口瞳, 片山はるみ, 長谷川智子 (2010). 看護学生の臨床実習環境とストレス・コーピングに関する実態研究調査, 広島国際大学看護学ジャーナル, 7(1), 3-13.
- 8) 山口求, 今村美幸, 松高健司, 光盛友美, 島谷智彦 (2010). 乳幼児のスキンケア継続研究—シュガースクラブの皮脂量への影響, 日本小児看護学会誌, 19(1), 37-42.
- 9) 岡本裕子, 坂村八恵, 隅田寛, 千田武志 (2010). 北清事変期の広島陸軍予備病院に

おける医療と看護, 広島国際大学看護学ジャーナル, 7(1), 15-25.

## 2. 研究報告

- 1) 神開知子, 的場省二, 山田香織, 秋山智, 岡本裕子 (2010). 透析時間延長に対する患者の思い—時間延長を承諾しない患者へのインタビューから, 広島国際大学看護学ジャーナル, 7(1), 37-45.
- 2) 空本奈緒, 吉山琴美, 永田真澄, 木原智恵美, 秋山智, 岡本裕子 (2010). 親子間腎移植におけるドナーとレシピエントの心理的様相に関する事例研究—子から親への移植のケースを通して, 広島国際大学看護学ジャーナル, 7(1), 47-56.
- 3) 山口求, 今村美幸, 光盛友美, 松高健司, 島谷智彦 (2010). 学童期・思春期の尋常性座瘡(にきび)のスキンケアに関する研究—シュガースクラブの洗浄効果・殺菌作用効果の検証, 株式会社アビサル・ジャパン (2009年度), 委託研究報告書.
- 4) 濱井和子 (2010). 看護領域における人的資源管理研究の動向と課題に関する予備的考察, 広島国際大学看護学ジャーナル, 6(1), 27-36.

## 3. 総説

- 1) 秋山智 (2010). 難病患者から見た医療・看護 (17): 若年性パーキンソン病患者の生活の現状と諸問題, 臨床老年看護, 17(6), 87-103.

## 4. その他

- 1) 秋山智, 浜田朋子 (2010). 難病患者から見た医療・看護 (13) 若年性パーキンソン病患者と社会組織, 臨床老年看護, 17(1), 91-97.

- 2) 秋山智, 原田美和子 (2010). 難病患者から見た医療・看護 (14)私の職歴は病歴と共にあり, 臨床老年看護, 17(3), 70-77.
  - 3) 秋山智, 辻井裕美 (2010). 難病患者から見た医療・看護 (15)今を生きる喜びとオルゴールでつながる絆, 臨床老年看護, 17(4), 104-111.
  - 4) 秋山智, 浜田朋子 (2010). 難病患者から見た医療・看護 (16)今を精一杯生きている, 臨床老年看護, 17(5), 111-119.
  - 5) 秋山智, 武藤香織, 柘中智恵子 (2010). 難病看護と遺伝—看護職としての支援, 日本難病看護学会誌, 15(2), 120-121.
  - 6) Okamoto, Y., Akiyama, S., Sakamura, Y., & Kaminishi, T. (2010). Actual condition of disease disclosure of the Early-Onset Parkinson's disease patients to circumference people, *Role Expansion of Nurses and Improvement of Professional Status 2010*, 47-48.
  - 7) 吉井恵美子, 水津あすか, 小林怜佳, 松本睦子, 俵由美子 (2010). 一次救命処置 (BLS) を地域に普及させるために, *HEART nursing*, 23(9), 105-109.
  - 8) 深堀美紀子, 坪井敬子, 秋山智, 岡本裕子, 坂村八恵 (2010). 気管・口鼻腔吸引の技術修得に関する研究 —臨地実習における看護学生の経験の2年間の実態調査から, 第40回日本看護学会論文集 —看護総合—, 383-385.
  - 9) 深堀美紀子, 坪井敬子, 秋山智, 岡本裕子, 坂村八恵 (2010). 気管吸引の技術演習方法の検討 デモンストレーションとロールプレイ取り入れ後の学生の自己評価, 第40回日本看護学会論文集 —看護教育—, 191-193.
- II. 著書
1. 図書・教科書
  - 4) 入岡隆, 水澤英洋, 秋山智 (2010). 多発性硬化症, 人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ (第4巻), 佐藤千史, 井上智子 (編集), 129-136, 医学書院, 東京.
  - 5) 山脇正永, 秋山智 (2010). パーキンソン病, 人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ (第4巻), 佐藤千史, 井上智子 (編集), 137-146, 医学書院, 東京.
  - 6) 坂村八恵 (2010). 「遊びから育つ人との関わり」, 橋本和子 (監修), 看護専門職の人生を育むものシリーズ 変化 思い出からの語り、未来への提言, 55-60, ふくろう出版, 岡山.
- III. 学会
1. 国際学会
  - 1) Shimatani, T., Hirokawa, S., Tawara, Y., Hamai, K., Matsumoto, M., Furukawa, A., Tazuma, S., & Inoue, M. (2010). *Helicobacter pylori* infection is not involved in the pathogenesis of GERD in a young population, World Congress of Internal Medicine 2010, Melbourne, Australia.
  - 2) Shimatani, T., Hirokawa, S., Tawara, Y., Hamai, K., Matsumoto, M., Furukawa, A., Tazuma, S., & Inoue, M. (2010). Changes in gastric acidity after *Helicobacter pylori* eradication in Japanese subjects under 40 years, World Congress of Internal Medicine 2010, Melbourne, Australia.
  - 3) Shimatani, T., Kinoshita, Y., & the Acid-Related Symptoms Research Group. (2010). Intraesophageal pH monitoring cannot predict the efficacy of PPI in patients with NERD: A Japanese multicenter prospective study by the Acid-Related Symptoms Research Group, Asian Pacific Digestive Week

- 2010, Kuala Lumpur, Malaysia.
- 4) Nakajima, M., Shimatani, T., Tanaka, R., Mokudai, N., Mizooka, M., & Tazuma, S. (2010). Usefulness of serum KL-6 (MUC1) levels for indicating herbal medicine-induced pneumonitis (drug-induced pneumonitis), The 15th International Congress of Oriental Medicine, Chiba, Japan.
  - 5) Miwa, H., Takubo, K., Shimatani, T., Furuta, T., Oshima, T., Tanaka, J., Aida, J., Ito, M., Kurosawa, S., Joh, T., Wada, T., Habu, Y., Watanabe, Y., Hongo, M., Chiba, T., Kinoshita, Y., & the Acid-Related Symptoms Research Group. (2010). Investigation whether histopathological findings of esophageal mucosa are effective predictive factors of proton pump inhibitor efficacy in nonerosive reflux disease and mild reflux esophagitis: Multicenter Study from Japan by ARS Research Group, The 111th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association (Digestive Disease Week 2010), New Orleans, USA.
  - 6) Furuta, T., Shimatani, T. Sugimoto, M., Ishihara, S., Fujiwara, Y., Kusano, M., Koike, T., Hongo, M., Chiba, T., Kinoshita, Y., & the Acid-Related Symptoms Research Group. (2010). Investigation of pretreatment prediction of proton pump inhibitor (PPI)-resistant patients with gastroesophageal reflux disease and the dose escalation challenge of PPIs: A multicenter prospective study by the Acid-Related Symptoms Research Group in Japan, The 111th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association (Digestive Disease Week 2010), New Orleans, USA.
  - 7) Tsuruoka, N., Fujimoto, K., Fujiwara, Y., Akiyama, J., Ando, T., Inamori, M., Tanaka, J., Shimatani, T., Manabe, N., Furuta, K., Shimoyama, Y., Kinjo, F., Deguchi, R., & Kusano, M. (2010). Risk factors for low responders to proton pump inhibitor (PPI) treatment in reflux esophagitis (RE) and non-erosive reflux esophagitis (NERD) -Japan FSSG Society-, The 111th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association (Digestive Disease Week 2010), New Orleans, USA.
  - 8) Okamoto, Y., Akiyama, S., Sakamura, Y., & Kaminishi, T. (2010). Actual condition of disease disclosure of the Early-Onset Parkinson's disease patients to circumference people, 2nd, Japan China Korea Nursing Conference, Tokyo, Japan.
  - 9) Kawamura, T., & Hamai, K. (2010). Empowering Patients in the Communities of Healthcare Practices: A Knowledge Management Model of Healthcare Organizations in the age of Patient 2.0, The European Association for the Study of Science and Technology (EASST) 2010, Trento, Italy.
- ## 2. 国内学会
- 1) 秋山智, 岡本裕子, 上西孝明 (2010). 若年性パーキンソン病患者のQOL の特徴—SEIQoL-DW による経時的分析を通して, 第15回日本難病看護学会学術集会, 山形市.
  - 2) 秋山智, 岡本裕子, 上西孝明 (2010). 若年性パーキンソン病患者の患者団体の活動, 第15回日本難病看護学会学術集会, 山形市.
  - 3) 秋山智, 結城勝己, 岡本裕子, 上西孝明 (2010). パーキンソン病若年患者の長期療養生活における問題について—NPO法人パーキンソン病若年患者会「オズ」の活動から, 第15回日本難病看護学会学術集会, 山形市.
  - 4) 秋山智, 武藤香織, 柊中智恵子 (2010). 難病看護と遺伝—看護職としての支援, 第15回日本難病看護学会学術集会公開セミナー,

- 山形市.
- 5) 秋山智, 岡本裕子, 上西孝明 (2010). 若年性パーキンソン病患者のQOL評価—SEIQoL-DWによる4年間の継続評価の分析を通して, 平成22年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班研究報告会, 東京.
  - 6) 藤田美江, 川村佐和子, 小倉朗子, 秋山智, 小森哲夫, 他 (2010). 神経難病看護師(仮称)育成のためのプログラムに関する検討, 平成22年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班研究報告会, 東京.
  - 7) 島谷智彦, 古田隆久, 三輪洋人 (2010). PPI抵抗GERD例の治療前予測とPPI増量による対策の検討—ARS研究会多施設共同Prospective Study—, 第96回日本消化器病学会総会, 新潟市.
  - 8) 島谷智彦, 井上正規, 古川亜由美, 廣川聖子, 俵由美子, 濱井和子, 松本睦子, 田妻進 (2010). 40歳未満でHPを除菌すれば胃内pH環境は正常化する, 第42回胃病態機能研究会, 札幌市.
  - 9) 島谷智彦 (2010). *H. pylori*---何をどう除菌するのか, 第22回広島ヘリコバクター研究会, 広島市.
  - 10) 山口求, 今村美幸, 光盛友美, 松高健司, 島谷智彦 (2010). 尋常性?瘡(にきび)のある思春期のスキンケアに関する研究—シュガースクラブの洗浄・殺菌効果の検証, 日本小児看護学会第20回学術集会, 神戸市.
  - 11) 岡本裕子, 坂村八恵, 隅田寛, 千田武志 (2010). 日露戦争期の広島予備病院における活動—日赤救護班の看護活動を中心として, 第111回日本医史学会, 水戸市.
  - 12) 渡川麻衣子, 岡野佳子, 森本史子, 服部亜希恵, 岡下智子, 平川マツミ, 松本睦子 (2010). 採血を受ける患児に対するディストラクション効果—聴覚刺激・視覚刺激・触覚刺激を活用して—, 第41回日本看護学会—小児看護—学術集会, 津市.
  - 13) 坂村八恵, 岡本裕子, 隅田寛, 千田武志 (2010). 日露戦争期の広島予備病院における医療と看護, 平成21年度日本医史学会広島支部・岡山医学史研究会 合同学術集会, 広島市.
  - 14) 廣川聖子, 横山ハツミ, 山田智子 (2010). CAI教材『エイジングゲーム2007』による学習効果の検討(2)—老いの受容と適応の視点から—, 第20回日本看護学教育学会学術集会, 大阪市.
  - 15) 横山ハツミ, 廣川聖子, 山田智子 (2010). CAI教材『エイジングゲーム2007』による学習効果の検討(1)—老いの内面的状況の理解を狙って—, 第20回日本看護学教育学会学術集会, 大阪市.
  - 16) 横山ハツミ, 廣川聖子, 白木智子, 山田智子, 近藤裕子 (2010). オリジナル教材(DVD, CAI)を用いた老年擬似体験授業の評価, 第15回日本老年看護学会学術集会, 前橋市.
  - 17) 深堀美紀子 (2010). 看護基礎教育の技術演習におけるデモンストレーションに関する文献検討, 第23回日本看護研究学会中国・四国地方会学術集会, 高松市.
  - 18) 深堀美紀子 (2010). デモンストレーションの活用に関する文献検討, 第41回日本看護学会—看護総合—学術集会, 山口市.
  - 19) 深堀美紀子 (2010). 看護師のキャリアとその志向に関する文献検討 全国看護管理・教育・地域ケアシステム学会 第4回学術大会, 福山市.
  - 20) 深堀美紀子, 秋山智, 岡本裕子, 坂村八恵, 坪井敬子 (2010). 気管吸引の技術演習方

法の検討—演習の構成に関する一考察—,  
第41回 日本看護学会—看護教育—学術集  
会, 佐世保市.

#### IV. 助成金

- 1) 秋山智 (2007-2010年度). 若年性神経難病  
患者の社会との接点とSEIQoL-DWとの関  
連に関する研究, 科学研究費補助金 (基盤  
研究 (C)).
- 2) 秋山智 (2008-2010年度). 特定疾患患者の  
生活の質 (QOL) の向上に関する研究: 若  
年性パーキンソン病患者の生活の現状と諸  
問題に関する研究, 厚生労働省科学研究費  
補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患  
患者のQOLの向上に関する研究」班, 代表  
研究者小森哲夫の分担研究.
- 3) 山口求, 光盛友美, 島谷智彦 (2010). 乳  
幼児スキンケア—シュガースクラブはバリ  
ア機能作用から皮膚トラブルの予防効果を  
検証する, 株式会社アビサル・ジャパン  
(2010年度委託研究).
- 4) 松本睦子, 俵由美子, 濱井和子, 島谷智彦  
(2010-2012年度). 表情と関わりの違いに  
よる看護介入が術後急性期患者のリラクゼー  
ションに与える効果, 科学研究費補助金  
(挑戦的萌芽研究).
- 5) 川村尚也, 濱井和子, 太田雅晴, 本多哲夫,  
土屋貴志 (2008-2010年度). 小規模企業に  
おける職域健康増進が企業業績に及ぼす影  
響に関する実証的研究, 科学研究費補助金  
(基盤研究 (B)).

#### VI. 受賞

- 1) 秋山智, 岡本裕子, 上西孝明 (2010). 第  
15回日本難病看護学会学術集会優秀演題賞,  
日本難病看護学会.

#### 老年看護学領域

##### I. 論文

##### 1. 学術論文

- 1) 白木智子, 横山ハツミ (2010). エイジン  
グメイク演習によって看護学生が思い描く  
高齢者像—ラベルワークを用いた模擬老人会  
の分析, インターナショナル Nursing Care  
Research, 9 (3), 1-11.

##### III. 学会

##### 3. 国内学会

- 1) 川上あずさ, 筒井千春, 池田友美, 藤岡  
敦子, 番所道代, 近藤裕子 (2010). 看護  
学科1年次学生のレジリエンスの変化, 日  
本看護学教育学会第20回学術集会, 大阪市.
- 2) 池田友美, 筒井千春, 川上あずさ, 番所  
道代, 藤岡敦子, 近藤裕子 (2010). 看護  
学生のスタンダード・プリコーションにつ  
いての知識・必要性の認識についての一考  
察, 日本看護学教育学会第20回学術集会,  
大阪市.
- 3) 川上あずさ, 番所道代, 藤岡敦子, 筒井千  
春, 池田友美, 小林博美, 近藤裕子 (2010).  
点滴静脈内注射の演習時に学生が患者役割  
を行って気付いたこと, 第36日本看護研究  
学会学術集会, 岡山市.
- 4) 番所道代, 藤岡敦子, 筒井千春, 池田友美,  
川上あずさ, 近藤裕子 (2010). 看護学生  
のスタンダード・プリコーションについ  
ての知識・態度についての学年比較, 第36日  
本看護研究学会学術集会, 岡山市.
- 5) 横山ハツミ, 廣川聖子, 山田智子 (2010).  
CAI教材「エンジシングゲームゲーム2007」  
による学習効果の検討 (1) —老いの受容  
と適応の視点から, 第20回日本看護学教育  
学会学術集会, 大阪市.
- 6) 横山ハツミ, 廣川聖子, 白木智子, 山田智

子, 近藤裕子 (2010). オリジナル教材 (DVD, CAI) を用いた老年疑似体験授業の評価, 日本老年看護学会第15回学術集会, 前橋市.

- 7) 廣川聖子, 横山ハツミ, 山田智子 (2010). CAI教材「エンジシングゲームゲーム2007」による学習効果の検討 (2) - 老いの内面的状況を狙って, 第20回日本看護学教育学会学術集会, 大阪市.
- 8) 加藤直美, 舩田美幸, 早見裕子, 和田かおり, 岡本尚子, 白木智子 (2010). 終末期患者家族に対する音楽療法—導入時期別にみた効果の相違, 日本家族看護学会第17回学術集会, 名古屋市.

#### 小児看護学領域

##### I. 論文

##### 2. 研究報告

- 1) 山口求, 今村美幸, 松高健司, 光盛友美, 島谷智彦 (2010). 乳幼児のスキンケア継続研究—シュガースクラブの皮脂量への効果, 日本小児看護学会誌, 19 (1), 37-42.

##### 4. その他

- 1) 山口求 (2010). 小児領域の看護診断&関連図—ネフローゼ症候群 (前編), 子どもケア, 4 (6), 41-47.
- 2) 山口求 (2010). 小児領域の看護診断&関連図—ネフローゼ症候群 (後編), 子どもケア, 5 (5), 87-95.
- 3) 山口求 (2010). お砂糖と乳幼児のスキンケア, 砂糖類情報誌, 農畜産業振興機構, 8 (160), 50-52. 掲載URL: [http://www.alic.go.jp/joho-s/joho07\\_000141.html](http://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_000141.html)
- 4) 山口求, 今村美幸, 光盛友美, 松高健司, 島谷智彦 (2010). 学童期・思春期の尋常性座瘡 (にきび) のスキンケアに関する研

究—シュガースクラブの洗浄効果・殺菌作用効果の検証, 株式会社アビサル・ジャパン (2009年度), 委託研究報告書.

### III. 学会

#### 2. 国内学会

- 1) 山口求, 光盛友美, 松高健司, 今村美幸, 鍋島和貴, 中岡博美 (2010). 子育て体験を語る親の「気づき」による親の発達支援pract2—母親・父親と看護学生とのワークショップ, 第21回日本発達心理学会, 神戸市.
  - 2) 山口求, 今村美幸, 松高健司, 光盛友美, 島谷智彦 (2010). 学童期・思春期の尋常性座瘡 (にきび) のスキンケアに関する研究—シュガースクラブの洗浄効果・殺菌作用効果の検証, 第20回日本小児看護学会, 神戸市.
  - 3) 鍋島和貴, 山口求, 今村美幸, 松高健司, 光盛友美 (2010). 子育て体験を語る親の「気づき」による子育て支援—ワークショップ後の子育て観の変容“親となる”成長プロセス, 第21回日本発達心理学会, 神戸市.
  - 4) 今村美幸, 山口求, 松高健司, 光盛友美, 鍋島和貴 (2010). 親から学ぶ看護学生の子育て支援pract2—母親・父親と看護学生とのワークショップからの学び, 第21回日本発達心理学会, 神戸市.
  - 5) 室脇千里, 山口求, 松高健司, 光盛友美, 重松静香 (2010). プリパレーションの心理的効果—吸入を嫌がる乳幼児の子どもと母親の反応より, 第21回日本発達心理学会, 神戸市.
- #### IV. 助成金
- 1) 山口求, 光盛友美, 島谷智彦 (2010). 乳幼児スキンケア—シュガースクラブはバリア機能作用から皮膚トラブルの予防効果を



検証する，株式会社アビサル・ジャパン (2010年度委託研究)。

- 2) 山口求，光盛友美，地域につなげるSSP活動 (2010年度)．教育ネットワーク中国「地域研究課題支援事業」。

### 母性看護学領域

#### I. 論文

##### 1. 学術論文

- 1) 岡島文恵，我部山キヨ子 (2010)．助産師の卒後教育に関する研究—京都府における助産師の勤務実態と卒後教育，京都母性衛生学会誌，18 (1)，35-40。
- 2) 乾つぶら，島田三恵子，早瀬麻子，鮫島道，新川治子，緒方敏子，時本秋江，保条麻紀，竜岡久枝 (2010)．Pittsburgh Sleep Quality indexによる妊娠末期から産後4か月の母親の睡眠の質に関する縦断研究，周産期医学，40 (12)，1826-1829。
- 3) 小笠原知枝，吉岡さおり，山本洋美，秋山智，江口瞳，片山はるみ，長谷川智子 (2010)．看護学生の臨床学習環境とストレス・コーピングに関する実態調査研究，広島国際大学看護学ジャーナル，7 (1)，3-13。

##### 2. 研究報告

- 1) 我部山キヨ子，岡島文恵 (2010)．助産師の卒後教育に関する研究—助産師の卒後教育への必要性・時期・内容など，母性衛生，51 (1)，198-206。

#### III. 学会

##### 2. 国内学会

- 1) 新川治子，高畑陽子，杉野真紀，齊藤由香 (2010)．現代の若年女性の骨盤の形状とその関連因子との検討，第30回日本看護科学学会学術集会，札幌市。

- 2) 高畑陽子，新川治子，齊藤由香，杉野真紀 (2010)．大学生骨量と骨盤形状との関連の検討，第30回日本看護科学学会学術集会，札幌市。

#### IV. 助成金

- 1) 新川治子，高畑陽子，齊藤由香，杉野真紀 (2010年度)．現代女性の骨量や骨盤の形状と生活習慣との関連に関する研究，2010年度広島国際大学特別研究助成。
- 2) 山本洋美 (2009-2011年度)．マタニティダイアリーの分析に基づく切迫早産入院妊婦の看護ケア測定尺度の開発，科学研究費補助金 (若手研究 (B))。

### 精神看護学領域

#### I. 論文

##### 1. 学術論文

- 1) 高橋幸子，斎藤深雪，山崎登志子 (2010)．精神科看護師のバーンアウトの要因と情緒的支援の有効性に関する研究，ヒューマン・ケア研究，11 (1)，59-69。
- 2) 高尾文子，新谷奈苗，中村百合子 (2010)．森の香りの計算負荷ストレスに対するストレス緩和作用—鼻頭温度からみたA型行動と非A型行動パターンとのリラックス度の違い—，日本サーモロジー学会，29 (2)，44-49。

##### 4. その他

- 1) 糠信憲明，大沼いづみ，中村百合子，山崎登志子 (2010)．精神科病床における感染対策の現状と課題に関する研究，2010年度広島国際大学特別研究成果報告書，45-49。
- 2) 高尾文子，坊岡正之，新谷奈苗，中村百合子，蒲田和芳 (2010)．高齢者が快適に暮らすための筋肉・身体トレーニング継続の

意義一筋電図，快適性（ $\alpha$ 波）および末梢循環の変化と身体適応力，2010年度 広島国際大学特別研究成果報告書，21-24.

### III. 学会

#### 2. 国内学会

- 1) 山崎登志子，大沼いづみ，中村百合子，糠信憲明，高橋幸子（2010）. 看護学生の精神障害者に対する社会的距離とSOCの変化，第12回日本ヒューマン・ケア心理学会，東京.
- 2) 高橋幸子，齋藤深雪，山崎登志子（2010）. 情緒的支援の認知が精神科看護師のバーンアウトに与える影響，第12回日本ヒューマン・ケア心理学会，東京.
- 3) 上田智之，山崎登志子，糠信憲明（2010）. 看護師の感情労働とバーンアウト傾向との関連—一般科看護師と精神科看護師との比較—，第36回日本看護研究学会，岡山市.
- 4) 上田智之，山崎登志子，シェリフ多田野亮子，糠信憲明（2010）. 精神科看護師の感情労働とメンタルヘルスとの関連，第30回日本看護科学学会学術集会，札幌市.
- 5) 糠信憲明，大沼いづみ，中村百合子，横山久美，山崎登志子（2010）. 精神科における感染症への対応についての意識調査，第30回日本看護科学学会学術集会，札幌市.
- 6) 糠信憲明（2010）. 精神科における感染経路別予防策に関する調査，第38回日本精神科病院協会精神医学会，富山市.
- 7) 糠信憲明，大沼いづみ，中村百合子，山崎登志子（2010）. 精神科病院における感染対策についての意識調査，第34回中国四国精神保健学会，米子市.
- 8) 高尾文子，坊岡正之，奥本泰久，中村一美，新谷奈苗，中村百合子（2010）. 高齢者のレッグプレス負荷時の自律神経機能と前額，

鼻頭温度，第27回日本サーモロジー学会，横浜市.

- 9) 大沼いづみ（2010）. 精神科超長期入院高齢患者の退院直前から地域生活定着に至る体験，第20回精神保健看護学会学術集会，東京.

### IV. 助成金

- 1) 糠信憲明（2010-2011年度）. 精神科における感染対策の特殊性と課題に関する研究，科学研究費補助金（若手研究（B））.

#### 地域看護学領域

### I. 論文

#### 1. 学術論文

- 1) 高畑陽子（2010）. 思春期の骨量増加へ向けた介入方法の検討—体格と骨量との関連を踏まえて—，平成20年度～21年度科学研究費補助金（若手研究（B））研究成果報告書.
- 2) 高橋幸子，齋藤深雪，山崎登志子（2010）. 精神科看護師のバーンアウトの要因と情緒的支援の有効性に関する研究，日本ヒューマンケア心理学会，11（2），59-69.

#### 4. その他

- 1) 岡田ゆみ，齋藤由香，園中希依子，藤本千里（2010）. 就労している断酒会員のレジリエンスと適応に向けた態度志向，第40回日本看護学会（精神看護），146-149.

### III. 学会

#### 2. 国内学会

- 1) 高畑陽子，新川治子，齋藤由香，杉野真紀（2010）. 大学生骨量と骨盤形状との関連の検討，第30回日本看護科学学会学術集会，札幌市.

- 2) 新川治子, 高畑陽子, 杉野真紀, 齊藤由香 (2010). 現代の若年女性の骨盤の形状とその関連因子との検討, 第30回日本看護科学学会学術集会, 札幌市.
- 3) 高橋幸子, 齋藤深雪, 山崎登志子 (2010). 情緒的支援の認知が精神科看護師のバーンアウトに与える影響, 日本ヒューマンケア心理学会学術集会第12回大会, 東京.

#### IV. 助成金

- 1) 岡田ゆみ (2009-2010年度). アルコール依存症者に対する偏見除去のための教育的介入の効果, 科学研究費補助金 (若手研究 (B)).
- 2) 新川治子, 高畑陽子, 齊藤由香, 杉野真紀 (2010年度). 現代女性の骨量や骨盤の形状と生活習慣との関連に関する研究, 2010年度広島国際大学「特別研究助成」.